



第70回勝田全国マラソン

1月29日(日)

茨城県ひたちなか市 表町商店街スタート▶石川運動ひろばゴール



コロナ禍で2年間中止されていた勝田全国マラソン大会が3年ぶりに開催され、フルマラソンの部では今大会で現役を引退する石澤ゆかり選手が優勝を飾りました。

10 kmの部では名古屋ウィメンズマラソンへ出場の準備を進めている小井戸涼選手が中盤から後続ランナーを大きく引き離して優勝し、名古屋へむけて弾みをつけました。

2位には佐々木芽衣選手が、3位4位には同タイムで花野桃子選手と佐々木瑠衣選手が入るなど、日立で上位を独占する走りを見せてくれました。

高橋実里選手も今大会を現役最後のレースとして出場し、たくさんの声援を受けながら最後まで走り切りました。



石澤ゆかり選手・高橋実里選手



ラストラン

マラソン 42.195km



女子39歳以下の部 **1位**

自己新記録 2時間39分57秒 **石澤 ゆかり** 選手

この勝田全国マラソンは私が高校卒業、大学卒業という人生の節目の度に出場してきた思い出の詰まった大会だったので、やっぱり最後はこの大会で競技生活を卒業したいという思いで走りました。

長い長い42.195kmの道のりを、山あり谷ありだった自分の競技人生と重ねながら走っていたら、本当にあっという間に時間と距離が過ぎていったように感じました。競技者としてマラソンを走る覚悟が持てなかった程に、長い距離に対して苦手意識を持っていた自分が、最後はマラソンで優勝して終わることができるなんて思いもしませんでした。

やっぱり、挑戦するって何歳になっても楽しいものだと思えて感じることができました。

たくさんのご声援と仲間たちに囲まれて走れたこのレースは、何よりも楽しくて幸せな時間でした。本当にありがとうございました。



女子 10km



39歳以下の部 **1位** 33分18秒 **小井戸 涼** 選手

今回は3月の名古屋ウィメンズマラソンに向けて練習を進める中で出場した10kmでした。

直近の練習ではうまく走ることができなくて落ち込むことも多かったのですが、今回のレースで、後半でも1kmごとのラップタイムを大きく落とすことなく走れたことは、自分の走りを少し戻すきっかけを掴めたように思います。

地元のレースということもあって、沿道から「小井戸がんばれ!」とたくさん声をかけていただき、体が動かしにくい場面も乗り越えて走り切ることが

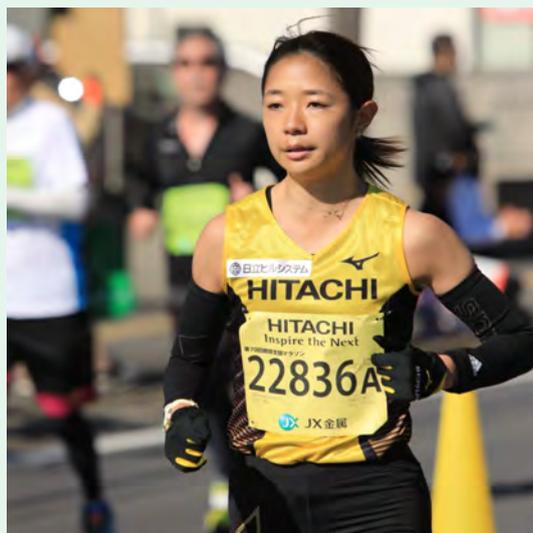
できました。

こうして走ることができる環境があることに感謝の気持ちをもって、名古屋ウィメンズマラソンに向けて、より一層、精進していきたいと思います! 応援ありがとうございました。





2位
34分11秒
佐々木 芽衣 選手



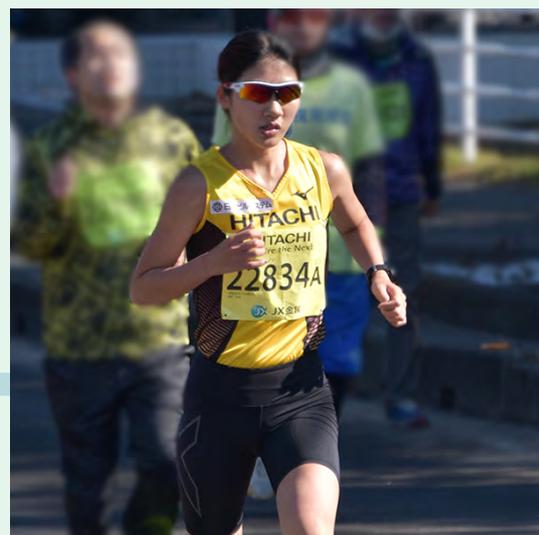
3位
34分29秒
花野 桃子 選手



4位
34分29秒
佐々木 瑠衣 選手



5位
35分24秒
橋野 玲奈 選手



6位
35分31秒
鈴木 樺連 選手

ジョグで参加しました!



8位 室伏 香音 選手



11位 田村 紀薫 選手



12位 長峯 野々花 選手

今回が区切りのレースということで、短い間でしたが、
たくさんの応援をいただき、本当にありがとうございました。
勝田マラソンは地元開催の大会ということもあって、会社の方々をはじめ
本当にたくさんの応援をいただき、スタートからゴールまで楽しく走ることが
できました。

今回が日立のユニフォームを着て走れる最後の大会だったので、沿道から
「日立頑張り！」という声が聞こえる度に、いろんな思いが込み上げてきて、
涙をこらえながら走りました。

この2年間は怖くて逃げたくなることも多くありましたが、
いつも周りの人に助けられて乗り越えてくることができました。
こんなにも恵まれた環境の中で競技をさせてもらえた私は幸せ者です。

不甲斐ない結果に終わってしまったことは、
すごく申し訳ない気持ちですが、
それでもここまで支えてきてくださった
皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。
今まで本当にありがとうございました。

16位 44分28秒
高橋 実里選手



**石澤ゆかり選手、高橋実里選手は
今大会が選手としての
ラストランとなりました。**

**今までたくさんの応援
ありがとうございました!!**

